

豊中市教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価委員会
令和7年度（2025年度） 第3回会議 議事要旨

日時 令和7年（2025年）7月25日（金）10時～12時
場所 庄内コラボセンター 2階 会議室2
会議形式 集合会議
出席委員 【集合】宮村委員（委員長）、山内委員（委員長職務代理者）、開沼委員
事務局 岩元教育長、森山事務局長、中尾教育政策監、堤理事、田上次長 他
傍聴 1人
会議録 下記のとおり

開 会

委員長より挨拶

成 立 要 件 の 確 認

事務局

- ・豊中市教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価委員会規則第6条第2項の規定により、委員の過半数の出席を必要とするが、委員総数3人中3人の出席をいただいているので、成立要件を満たしている。

前 回 の 振 り 返 り

委員長

- ・事務局から簡単に前回の振り返りをお願いしたい。

事務局から資料に基づき説明

- ・事務局より以下について一括説明
 - ・資料1-1 第1回意見集
 - ・資料1-2 第2回意見集
 - ・資料2 修正箇所正誤表
 - ・資料3 修正・追記報告書
 - ・資料4 答申（案）
- ・別添「豊中市教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況の点検及び評価報告書 令和6年度（2024年度）実施分」

委員長

- ・事務局からの説明を受けて、何か質問・意見はないか。

委員

- ・「教職員の平均超過勤務時間」の分布の記述について、現時点での公表は見送るとのことだが、教員をめざす学生は、教職員の勤務の実態が分かる資料を見比べて、自治体を選ぶので、より多くの学生を呼び込むためにも、次年度以降の記述について検討してほしい。

事務局

- ・ご指摘のとおり、次年度以降の記述は今後検討していきたい。

案件1 答申（案）について

委員長

- ・事務局から案件1について説明を願う。

事務局から資料に基づき説明

- ・資料4 答申（案）

1. 評価結果について

委員長

- ・答申（案）について、何か意見はあるか。

委員

- ・意見なし

委員長

- ・意見がないようなので、評価結果についてはこのままの記述とする。

2. その他点検及び評価に関する事項について

委員長

- ・昨年度と比較すると記述内容が増えているような印象を受けるが、意見はあるか。

委員

- ・2行目に「アウトプットとして記載した実績値に対して、成果としてどのように捉えているのかといった分析を、具体的に記述すべきと考える。」とあるが、アウトプットを示すのであれば、アウトカムと対応させたほうが分かりやすい。修正案としては、「アウトプットとして記載した実績値に対して、アウトカムを見据えた成果としてどのように捉えているのかといった分析を、具体的に記述すべきと考える。」はどうか。

委員

- ・非認知能力など、数値化するのも難しいが、データを蓄積して質的に評価することについて、記述を加えてはどうか。

委員長

- ・同意する。「報告書の指標に関して、施策を適切に評価するためにも、定量的に数値化できるものについては指標として設定し、そのあるべき目標値の検討をすべきと考える。」とあるが、数値的なことしか記述がないので、質的な側面の記述を盛り込むべきである。

事務局

- ・ご指摘どおり、定性的な記述ができていないので、できる限り、分かりやすい書き方にしていきたい。教育行政方針についても、点検評価を見据えて記述を工夫していきたい。

委員長

- ・具体的な文面はどうするか。

委員

- ・修正案の提案として、「報告書の指標に関して、施策を適切に評価するためにも、達成状況の把握が可能な定量的もしくは定性的な指標を設定し、そのあるべき目標値の検討をすべきと考える。」はどうか。

委員長

- ・今の修正案に対して、意見はあるか。

委員

- ・示された修正案でよい。

事務局

- ・それ以外に何か、あるか。

委員

- ・「あわせて、『教育行政方針に掲げた取組み』で記述した取組みについては」とあるが、取組みが繰り返されているので、「あわせて、『教育行政方針に掲げた取組み』で記述した事項については」に修正してはどうか。
- ・続いて、「点検及び評価における『状況』にて、その結果がわかるように全て記述するほうが望ましい。」とあるが、結果と成果という言葉を意識して使用したほうがよい。修正案としては、「点検及び評価における『状況』にて、その対応関係がわかるように全て言及するほうが望ましい。」はどうか。
- ・「それらの意見を反映した各記述については、妥当と考える。」について、課題もいくつかあるため、「概ね妥当と考える。」と修正してはどうか。

委員長

- ・ご指摘どおり、今回の検討だけで、十分だと言えないので、「概ね妥当と考える。」と変更する。
- ・「例としては、架け橋期教育の充実や、非認知能力の育成、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進、社会教育主事の活用」と記述があるが、昨年度は、例として項目がこのように

記述されていなかったが、変更したのか。

事務局

- ・昨年度の点検評価委員会で出た委員の意見として、その年に出た特徴的な意見は記述するほうがよいという提案があったので、今回は、例を挙げている。

委員長

- ・理解した。

委員

- ・「架け橋期教育」という記述について、何を示しているのかが分からない。具体的なイメージが持てない。

事務局

- ・「架け橋期教育」について、注釈をつけるもしくは、前に補足を追記したい。

別添1 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に対する意見集 報告書全体

委員

- ・報告書全体の項目について、「成果として、『～を取り組みました』、『～を支援しました』、『～を推進しました』などと記載があるが、それは成果とは言えない。取り組んだ結果として、何が見えてきたのか、何が生まれたのか、それによって何につながったのかを書かないと、成果として説明がつかない。」と記述があるが、「結果」と「成果」という言葉を使い分けた方がよいので、「結果」という言葉を「効果」に修正したほうがよい。

委員長

- ・市民に伝わりやすい表現にして修正してほしい。

事務局

- ・いただいた意見を含めて、市民により伝わりやすい表現に変更する。

案件2 その他

委員長

- ・案件2について事務局から何かあるか。

事務局

- ・答申（案）については、加筆修正作業を行い、事務局で整えた答申書の最終案を委員長に確認し答申を確定させる。その後、委員長から教育長に手交する予定。
- ・今回の第3回をもって今年度の点検評価委員会は終了となる。

教育長より挨拶

委員長

- ・本日予定していた案件はすべて終了した。これをもって、第3回豊中市教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価委員会を閉会する。

閉 会